

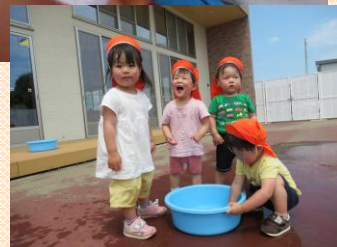


みず、きもちいいね

うーん！



みかん(1組(1歳児))



暑さに負けず、元気に駆け出し、好きな遊びを楽しむ子ども達。砂場では型抜きをしたり、大きな山を作ったり、水を汲んで遊んだりして、水や砂の感触を楽しんでいます。築山の草の所では、小さなバッタやカエル、アリなどを発見して、友達と一緒に喜び姿が見られます。これからも、様々な夏ならではの経験を楽しんでいきたいと思います。

3歳以上児クラスの子ども達は毎日準備してもらっている水筒で、3歳未満児クラスの子ども達は冷やした麦茶を用意してもらい、こまめに水分補給をしています。夏の暑さに負けないように、こまめな水分補給はもちろんのこと、朝食をしっかり食べたり、十分に休息を十分にとるなど生活リズムを整えて、元気に過ごせるようにしましょう。



6月11日(水) 小山の菅原さんから玉ねぎを頂きました。

胆沢保育園の時から毎年この時期になると、菅原さんの畑で玉ねぎ収穫の体験をさせて頂いておりました。こども園になり、遠くなったため収穫体験の実施は難しくなりましたが、何と菅原さんご夫婦がきいろ組の子ども達全員分の玉ねぎを園に届けて下さいました。玉ねぎが大きくなるまでの様子を教えて頂き、子ども達の質問にも丁寧に答えて頂きました。その後、一人一人に玉ねぎの入った袋を手渡しして下さい、子ども達の「ありがとうございます」の聲がホール中に響き渡りました。



質問コーナー

○玉ねぎの赤ちゃんを見ながら、
子「どうやって植えればいいですか？」
菅原さん「この白い所を土に植えます。」

質問コーナー

子「鳥に取られないように、カバー(マルチ)とか
掛けますか？水をあげますか？」

菅原さん

「マルチは掛けても、掛けなくても大丈夫です。鳥が玉ねぎの苗をとることはないので大丈夫です。雨が降るくらいの水で大丈夫なので特に水やりもしなくていいです。お世話をあんまりしなくても大きくなる簡単な野菜ですよ。」と話してくれました。



植えるまでの土づくりなどいろいろなお世話があればこそ大きく育つのだと立派な玉ねぎを見て、思いました。

おいしいお料理が出来るまでのエピソードと感想をたくさんいただきました。ありがとうございました。一部をご紹介します。

【Aちゃんのお家の方から】

子どもも親も第一声は「大きい！」でした。普段は玉ねぎというよりも野菜全般をあまり食べないのですが、カリカリのかき揚げにすると「おいしい！」と言ってパクパク食べていました。「また作ってね」というくらい気に入ったようで、素材の良さがフォローしていただいたのだと思います。ありがとうございました。

【Cくんのお家の方から】

息子と何にして食べるか相談した結果、カレーライスの一択でした。

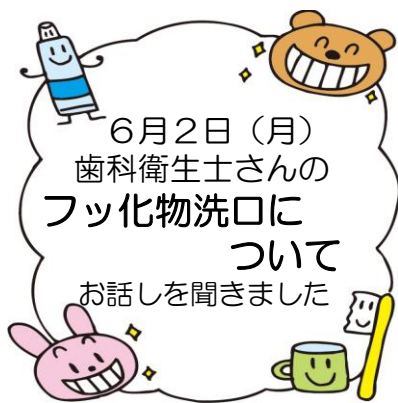
玉ねぎの皮をむいてもらったり、一緒に炒めたりとたくさんお手伝いをしてもらって家族皆でおいしくいただきました。ありがとうございました。

【Bくんのお家の方から】

玉ねぎありがとうございました。
家でオニオンフライを作りました。
玉ねぎが苦手なAですが、作っている時にのぞいたり、出来ると、一口チャレンジで食べてくれました。

サクッとした食感がおいしく、甘い玉ねぎで家族で「美味しいー！」と言いながら食べました。





きいろ組の子ども達は、これから永久歯に生え変わるので、その永久歯をいつまでも使えるようにフッ化物洗口を行います。歯科衛生士さんにフッ化物を使ったうがいの仕方について教えてもらい、さらに大切な歯を守るための約束をしました。

○やくそく

- ・虫歯ばい菌は、子どもが歯磨きをしても歯と歯の間に隠れるのが上手です。大人の方が仕上げ磨きをして、隠れている虫歯菌を歯から追い出しましょう。
- ・おやつは時間を決めて食べましょう。
- ・炭酸飲料は、歯を溶かす心配があるため飲まないようにしましょう。
- ・喉が渴いたら、水かお茶を飲む習慣をつけていきましょう。

はぶらしマンやフッ素マンが出てくると子ども達は喜びながら真剣に話を聞くことが出来た。

フッ化物を使い、曲に合わせてうがいの仕方を練習した。口の中でフッ化物をぶくぶくさせて、泡立てることが難しそうだった。子ども達の大切な歯を守るためのうがいなので、丁寧にらせていきたいと思う。
【きいろ組 保育日誌より】

6月12日(木) 歯科検診 (3歳以上児)



さくらば歯科医院の櫻庭先生による歯科検診が行われました。櫻庭先生から「歯に関心のある保護者の方が多くていいですね」とお話がありました。

虫歯のあったお子さんは、早めに治療を始めましょう。治療後には、診療カードを提出して下さい。よろしくお願いします。



6/19(木) 心肺蘇生法講習

本園の看護師による心肺蘇生法講習会を行いました。

万が一、心肺停止状態になったときに、救急車が到着するまでの間、大切な命をつなぐために心肺蘇生をします。

乳児、幼児、大人の場合で、多少の違いはありますが、心肺蘇生は止めずに続けることが大事ということが分かりました。力加減やテンポ、手分けして様子を記録する人、AEDを用意する人、など細かいところまで教えてもらいました。

慌てずに落ち着いて、みんなで協力しながら大前提！

万が一に備えて、全職員が継続して学んでいきます。



6月18日（水） 交通安全教室（4・5歳児）

きいろ組、みどり組を対象に交通安全教室を行いました。

- ・チャイルドシートに座ってしっかりとシートベルトをすること
- ・道路の歩き方
- ・道路を渡るときの約束

などをパネルシアターを使って分かりやすく教えてもらいました。交通安全専門員さんさんからの問いかけに元気に応える場面があり、少し長めの集会に真剣に参加しました。



駐在所長さんの姿を見て、
かっこいいと嬉しそうに見
ていた。真剣に話を聞くこ
とが出来た。

【保育日誌より】



南都田駐在所
半田豊所長



南都田駐在所所長さんから

交通安全教室は命を守る勉強です。横断歩道では、しっかり手を挙げて運転手さんに自分がいることを知らせ、交通事故にあわないように気をつけて歩きましょう。と、教えて頂きました。



もも組

6/19(木)

6月生まれの誕生日会

お知らせ
誕生日会の時のプレゼントは、
PTA会費から準備させていた
だいております。



あか組



きいろ組



きいろ組の誕生日会を紹介

誕生日会の出し物は、誕生日児が中心となり、担当保育教諭と相談しながら決めているそうです。

6月は、悦子先生と相談してベルを使って「きらきらぼし」を演奏していました。きいろ組の子ども達はお祝いの気持ちを込めて、一緒に「きらきらぼし」を歌っていました。期待をもって準備する様子がとても素敵です。誕生日会がますます楽しみになりますね。

6/25(水)～27(金)

保育参加 4歳児（みどり組）3歳児（もも組）ありがとうございました

もも組 室内では、お医者さんごっこ、ままごと、歌あそび、ケンケンパ遊び
園庭では、アスレチックの滑り台、雲梯に挑戦、かけっこ、砂場遊び

Dは保育参加を心待ちにしていたようで、父の側にピッタリとついて大喜びだった。日ごろから楽しんでいるかけっこをお家の人と楽しんだ後は、それぞれに分かれて遊ぶことにする。Eは母の手を引き「ボール遊びしよう」「滑り台しよう」と時間を惜しむように遊んでいた。

3日間で、様々な場面を見てもらえたのではないかと感じている。保護者の方と今後も連携を密にしていきたい。
【保育日誌より】



【給食エピソード】

給食の時に同じテーブルに座っていたFが「ブロッコリーおいしい」と話すと、Gの母がGに「お友達がブロッコリー、おいしいって食べたよ。Gも食べてみよう。」というのでGが口を開けてブロッコリーを食べた。母が「すごいね」と喜んでた。母と保育教諭にほめてもらい、嬉しそうな表情が可愛らしかった。
【保育日誌より】



みどり組 園庭では 親子リレー・砂場遊び、アスレチック、鉄棒、虫探し、草花摘み
室内では 普段あそんでいるままごと、粘土、ホッケー遊び、紙飛行機コーナー
給食試食会が行われた。

友達と遊ぶことが楽しくなっている姿なども普段通りながら進めることが出来て、保護者の方に見てもらえることが出来た。 【保育日誌より】



【親子リレーのエピソード】

3日目の親子リレーはお家の人も本気で走る姿が見られた。Hの母が「H、手をつないで走ろう！」と走る前に声をかけていた。しかし、Hはそれに応じなかった。終わった後に「先生、お母さんに手つなごうって言われたけど、つながなかった」と話す。「どうしてつながなかったの？」と聞くと、「だって、勝負だから」と答えた。自分の意思をしっかりとって行動している姿に感心した。

【保育日誌より】



私たちが伝えたい「7つのメッセージ」を今月号から特集します。ぜひご覧ください。

1. 子どもの思いを受けとめましょう。

0歳からのお子様をお預かりする保育・教育施設では、言葉が未熟な年齢でもあるために、子ども一人一人の状況や表情を把握しながら、ニーズや思いへの対応を行っています。

特に近年では、赤ちゃんが泣くという仕草にも何かを伝える意図があつて、自ら思いを伝えようとする力を既にもっていると言われていています。また、片言の言葉を発する時期では、自分の思いを伝えようとしてもうまく伝えられなくて、ぐずったり、「いやいや」を連発することがあります。

さらに、お友だちとの関わりが増えてくると、意見のぶつかり合いに出会ったり、自分の思いを調整することが求められる場面も体験します。そのため、自分の思いを理解してもらえないことが大きなストレスになるのではないかと考えられます。これらのことから、保育者は、丁寧に子ども達一人一人の話を聞き、伝えたいことを整理することや、共感して思いに寄り添う言葉がけを日々行っています。例えば

- ・乳児のオムツ交換の際には、「気持ち悪かったね。」「交換してスッキリしたね。」など。
- ・幼児クラスでのこども同士のトラブルなどでは、「〇〇ちゃんの思いはこうなんだよね。」「〇〇ちゃんはこれがいやだったんだね。」など双方の思いを認めること。といった言葉がけを大切にしています。

ご家庭においても、がんばっておられることと思いますが、“親とわが子”という関係性から、やってあげることや失敗しないようにとの思いが先行してしまったり、保護者自身の経験に基づいた声かけをついつい押しつけてしまいがちになる事はありませんか？

子どもの声を”素直に聞く”ということは難しいと思われてしまうかもしれませんが、子どもは、自分の近くにいる存在である大人に“自分のことをわかってほしい”という思いがあります。

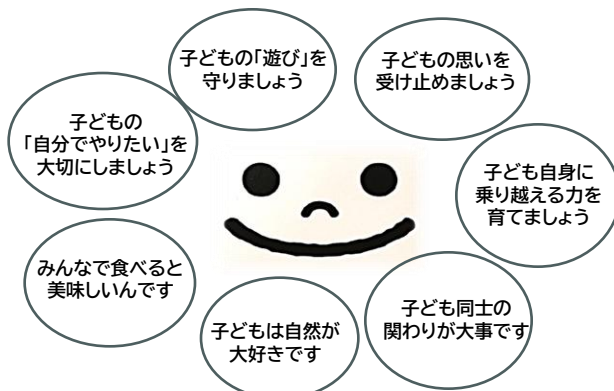
ぜひ、ご家庭でも、お子様の声に耳を傾けてみてください。子どもにとって、自分の思いを大人に聞いてもらえること、また、共感してもらえることが、相手との信頼関係をもつことにつながります。大人も童心に帰り、目線を合わせて考えてみることで、子どもの素直でやさしい思いに気づいたり、日々成長し「考える」力をつけている姿を発見できると思います。

新しい時代は子どもから

～こどもまんなかやってみた～



公益社団法人
全国私立保育連盟





月	火	水	木	金	土
	1	2 身体測定 (3歳以上児) 胆保協給食部会	3 身体測定 (3歳未満児) 胆保協運営委員会 胆保協主任部会	4 七夕会 祖父母参観 きいろ組(5歳児) キャリアアップ研修	5
7 留学生との交流会 きいろ組(5歳児) 保育実習生受入	8 センター会議	9	10	11 わくわく探検の日 きいろ組(5歳児)	12 手作り弁当
14 個別面談 (3・4歳児)~7/31	15 避難訓練 園内研 佐藤教授来園 本部会議 法人研修委員会	16 心肺蘇生法講習 (職員)	17 誕生会 いちごみるく来園	18 実習生反省会	19
21 海の日	22 保育参加 2歳児(あか組)	23 子育て支援部門 運営会議 北海道・東北ブロック保育研究大会	24 職員会議	25 終業式	26 夏季休業 1号認定 ~8/20 手作り弁当 いさわ水の郷夏祭り
28 給食会議 (1・2歳児) 保育実習生受入	29 園内研	30	31 保育参加(1歳児) 第1四半期出納監査	8/1 キャリアアップ研修	2

6/13(金) 運動遊びを活動に取り入れているきいろ組に、サプライズプレゼントがありました。 **5段の大きな跳び箱**です。

早速、見本に跳んでくれたのは、歩美先生と実習生の阿部さんです。2人とも、ピョンと軽々跳んでいて、とってもかっこよかったです。子ども達も挑戦してみました。ロイター板でジャンプに勢いをつけて、2段の跳び箱の上に立ちます。そこからマットの上に大ジャンプをします。始めはちょっと怖々という表情だった子ども達も、跳びあがる気持ちよさを感じて、繰り返し取り組みました。





「いっしょにあそぼ」
みるく組（0歳児）



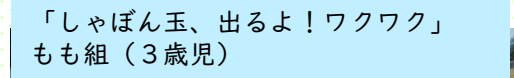
お魚釣り 楽しいね！
あか組（2歳児）



「お家、出来ました！」みどり組（4歳児）



「お料理つくるね」
「あかちゃん、おんぶしますよ」



「しゃぼん玉、出るよ！ワクワク」
もも組（3歳児）



「うわー、あっちにとんだ！」

「うえまで、いってる！」



おにぎりクッキング 5歳児（きいろ組）

6月30日（月）「三角おにぎり」「まるいの作った」と自分なりの形を作って楽しんだ。給食の時には、「おいしいね」と言葉にしながら喜んで食べる子ども達。

材料と用具を用意して、作り方を教えてくれた栄養士の友美先生です。

